滿洲日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送達人幷無分毫加增
○告白料
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分一月者每行每日一角登長年者價當面議
從減 每張四百文

定價 元寶六吊百文 ○六吊二百
一洗石鹸 二打入 同三圓三十錢
一同 袋眞綿 二十本入 同一圓七十錢
一改良半紙 六枚入百袋 同一百三十圓
關東公司

一緋 一反入 同
一白味噌 正五貫入一樽 同二圓八十錢
一同 赤 正十八貫入同 同八圓五十錢
一堅パン 七貫入一函 同九圓
矢野洋行

一女手袋 打同
一メリヤス手袋 打同三圓より六圓迄
一小供手袋 打同一圓五十錢より五圓迄
一女シャツ 打同六圓八十錢より十圓位迄
一小供シャツ上下 打同九圓位より廿圓位迄

告示

關東總督府管內(租借地ヲ除ク)土地家屋貸下內規

第一條 本內規ニ於テ土地家屋ト稱スルハ關東總督府管內ニ在ル官有ノ土地家屋營造物其他一切ノ不動産ヲ云フ

第二條 土地家屋ハ官ニ必要ナラザルモノニ限リ一定ノ貸下料ヲ徵シテ一般人民ニ貸下クルコトヲ得但貸下料ハ每月之レヲ前納セシムルモノトス

第三條 土地家屋貸下期限ハ一ケ年以內トシ繼續貸下ヲ希望スル者アルトキハ更ニ出願許可ヲ受ケシムルモノトス但事業ノ性質ニ依リ特ニ許可ヲ得タルモノハ此限リニアラズ

第四條 土地家屋ノ貸下取扱ハ軍政官又ハ軍務官(軍政官又ハ軍務官ヲ置カザル地ニ在リテハ其地ノ軍政ヲ所掌スル官衙以下之ニ傚フ)之レヲ爲ス可シ

第五條 軍政官又ハ軍務官ハ貸下グベキ土地家屋ノ等級區分及ヒ貸下料ヲ定メ豫メ總督ノ認可ヲ受ク可シ但シ略圖ヲ添附ス可シ

第六條 同一ノ土地家屋ニ對シ同時ニ二人以上ノ借受出願者アルトキハ其貸下ハ競爭入札ニ依ル可ク其方法ハ軍政官又ハ軍務官之レヲ定ム可シ
前項ノ土地家屋ニ就キ第三條ニ依リ繼續貸下ヲ願出シルモノアリテ入札者中ニ於ケル最高額ノ貸下料ヲ納付スルトキハ其出願者ニ先借權ヲ有セシムルモノトス

第七條 借受人借受目的以外ノ用途ニ土地家屋ヲ使用セントスルトキハ更ニ出願許可ヲ受ク可キモノトス

第八條 借受人借受ノ土地家屋ヲ他人ニ轉貸シ又ハ當該土地家屋ノ上ニ有スル權利ヲ債務ノ擔保ニ供シタルトキハ直チニ貸下ノ許可ヲ取消スモノトス

第九條 土地家屋ノ借受人第七條ノ規定ニ違反シ若クハ其他避ク可カラサル事由ニ依ルニ非スシテ借受ノ日ヨリ二ケ月以內ニ借受ノ目的タル施設ニ着手セス又ハ着手スルモ自ラ施設スル意思ナシト認メタルトキハ其貸下ヲ取消スモノトス

第十條 借受人借受タル土地家屋ニ修繕ヲ加ヘ又ハ其他ノ工事ヲ爲サントスルトキハ願書ニ工事ノ設計書ヲ添付シ其地ノ軍政官又ハ軍務官ニ出願シ許可ヲ受ク可シ
前項ノ場合ニ於テ軍政官又ハ軍務官ハ工事費負擔ノ區分又ハ工事物ノ所有權ノ歸屬ニ付キ許否ヲ決ス可シ

第十一條 借受人前條ノ規定ニ依ラスシテ修繕其他ノ工事ヲ爲シ若クハ故意又ハ怠慢ニ依リ土地家屋ヲ荒廢毀損亡失セシメタルトキハ相當ノ賠償ヲ爲サシムルモノトス

第十二條 借受人自己ノ便宜ニ依リ借受中ノ土地家屋ヲ返還シ又ハ返還ヲ命セラレタル場合ニ於テ其土地家屋ニ加ヘタル工事又ハ定着物アルトキハ軍政官又ハ軍務官ハ相當ノ期限ヲ定メ借受人ヲシテ復舊工事ヲ爲サシメ又ハ其物件ヲ除去セシムルコトヲ得
前項ノ期限內ニ復舊工事ヲ終ラサルカ又ハ定着物ヲ除去セサルトキハ借受人ノ負擔ヲ以テ官ニ於テ復舊工事ヲ爲シ借受人ノ損害アルトキハ之ヲ賠償セシメ又ハ定着物ハ之レヲ沒收ス

第十三條 前條ノ場合ニ於テ軍政官又ハ軍務官ハ必要ト認ムルトキハ第十條ノ工事費負擔及其他ノ狀況ヲ參酌シ相當ノ價格ヲ以テ工事及物件ヲ買收スルコトヲ得但シ此場合ニ於テハ關東總督府經理部長ノ承認ヲ受クルヲ要ス

第十四條 貸下クル土地家屋ニシテ官ニ必要ヲ生ジタルトキハ何時ニテモ其一部若クハ全部ヲ徵用シ又ハ返還ヲ命ス但シ止ムヲ得サル場合ノ外家屋ハ一週日土地ハ一月前ニ豫告ヲ爲スモノトス

第十五條 軍政官又ハ軍務官ハ停車場城內及其附近又ハ鐵道沿線上其ノ他將來ニ於テ軍事上行政上重要ト認ムル土地家屋ヲ貸下クルトキハ移築改築復舊工事等ニ多大ノ日時ト手數トヲ要スル永久的築造物ノ建設又ハ著大ナル變造ヲ施スコトヲ許可スベカラズ

第十六條 前條ノ規定ハ租借地內ニ在リテモ亦之レヲ適用ス

告示

來る廿日より廿八日迄在留日本人の種痘を司法部裏醫務所に於て無料施行す

月　日

營口軍政署

公告

本官ハ本日午后二時廿分當地發一時歸朝ス不在中ハ堀越憲兵長ヲシテ代理セシム

明治三十九年二月廿日

營口軍政官 與倉喜平

特別廣告

△資本金貳千四百萬圓
△積立金一千零拾四萬圓
本支店出張所
橫濱 神戶 東京 長崎 大阪
倫敦 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺
電話 百八番 十二番 支店長室 事務室
橫濱正金銀行牛莊支店

淸酒 東自慢、白鹿
麥酒 ビール
孔雀印 平野水、箱根水
上等石炭
以上極廉價を以て發賣致候間御用仰付被下度候也
松茂洋行商業部
河岸通(電話五十二番)

三井洋行
倉庫部
精製白砂糖新入荷物あり
啓者本行開創在中外通商各埠已有年所售擔棉紗棉布火柴煤炭糖海產等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請認臨是荷
今回倉庫所在地(青堆子精搗場上隣り河岸)の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は全所へ御照會被下度願上候(電話百二十八番)

宅合名會社分莊
本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤鶴印并其名譽已傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣德院內分設支店一所發賣綿絲綿布火柴絨布衣料荷標布手巾東洋綴子洋傘等各貨物俱全而價值尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辱臨爲幸
運輸部
今新開設運行特得官准開設火車轉運行於東西兩店并牛家屯分設此殊以李吉市田彫超等之華人敏活細心以責任欲膺承與本業賜顧幸甚
總司理人 田中嘉之助謹白 電話 東店五五 西店一公二

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢代客經理買賣租船裝運承攬大凡輪船帆船一切傭船等事並自建碼頭房地官倉有倉庫貨物搬運堆積租賃及存貨物不論多寡均可租賃總司理人 葉亮卿謹白

東永茂
本號開設在營口創辦油榨生意多年以本營業非祇做油房機器油房及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井洋行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遍邇知之 正理事 張玉田 副理事 金德魁 設在營口西北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南第乙第五號專營裝運檢船上下各貨照料裝運稽覽大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞 本主人敬啓

仁裕號
係裝運各等火輪船生意兼賣各封洋什貨綿石等貨 營口西大廟街路北第乙第十二號

恒有長
本號開設在西大廟街路南第十一號廣福雜貨一概俱全價格外從廉兌己并另設銀爐包寄綿以應急需久爲中外士商所推許凡賜顧者請認明招牌爲荷

元能盛
本油坊買賣元荳荳油荳餅雜色糧石以及代客雜貨布疋一切發行裝運沙船鐵船交易南北客商歷有年矣貨此謹白
開設營口西街老爺閣前路北第乙第四十九號

代代木烟公司
本行東督日本官廳紙烟星象牌(新運)煙酒新製各牌百合花牌(利利)均已馳名內外茲特運上等烟料加工精製雙仙鶴牌(隆治來福)清香撲鼻佳美適口而價值極廉元採各商賜顧可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買應不致誤謹此廣告

大日本政府特定
官製口付紙捲烟草
滿洲一手輸入發賣
江副洋行
營口永世街

和泉洋行
本店開設在營口重盛街、發賣毛布、手巾、小布衫、襪子、皮袋、帽子、洋蠟、小刀及其餘各種雜貨一概俱全價值格外從廉克己、凡中外仕商賜顧者、請光臨爲幸、
大阪府堺市熊野町 藤原謹啓

田中牛莊分莊
啓者本舖開設於東營口經定門外經大阪丸三組精造東洋式襪子羊肚手巾各樣新近進口來的貨物本舖代價格外從廉 賜顧者請光臨本舖面閱是幸
田中牛莊分莊謹啓

材木販賣
荒物
秋田洋行
營口永世街第一八四號小野町
本店 下關 秋田寅之輔商店

飯塚工程局材料出售
啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司訂約運到各種木料品質精良久已馳名遠近以之築造屋宅及製各色傢具無不合宜且價值格外從廉凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子眞眞價以應各主顧之需 局主人啓

東洋號運貨局
本局新設新民府今經官准由新民府至奉天輕便鐵路開辦運貨凡鐵路運貨比之車運速而廉衆人所知也本局所辦事宜誠實可靠懇切受托章更不歉且運費格外公道以籌貨主之利便不論貨物多少論担算或論噸算均可如蒙賜顧仕商請至本局照價賠償若客票本局亦可代買特此週知 新民府輕便鐵路火車站東洋號運貨局本店 奉天輕便鐵路火車站東洋號運貨局支店

電氣諸機械
大阪 三友洋行 電機部
賣 (營口永世街甲二一五號)

飯塚工程局
營口元神廟前 (電話百五十九番)
專門土木建築材料品の各種を特別の廉價を以て多少に不拘賣却仕候
一閩御引立の程奉希上候
一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

賣捌並廣告取次所
大連市稅政町三百三十八號 日華運輸公司
大連市盤陽城四架九番地 岡野新聞舖
奉天大西門內景祐宮胡同 全泰號
遼陽 遼供町十 谷口今朝太郎

Rates for advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office,
Newchwang.
Telephone No. 29.

一ケ月以內前期連揭減價面議
發行所 淸國營口中街 滿洲日報社 (電話二九番)

東京電報

●韓國軍部大臣の遭難　韓國軍部大臣刺客に遭ひ重傷を負へり（二月十七日發電）

●英國皇甥御着京　英國皇甥コンノート、アーサー親王殿下本日東京御着天皇陛下新橋停車場に御出迎握手の禮を行はせらるアーサー親王ハ皇太子殿下有栖川宮殿下と御同乘霞關離宮に入らせらる奉迎者堵の如し（二月十九日發電）

倫敦電報

●清國勞働者問題　清國勞働者問題をトランスバール議會に交附せんとする件に付き内閣員間に意見を異にするに至れり急進派の一部は是れ選擧人に對する約言を食むものなりと抗議せり

●ナタル人の銃殺處刑　二名のナタル土人はリチモンドに於て警官を逆殺せるが爲めに軍法會議に附せられ同種族の面前に於て銃殺の刑に處せられ連累者の作物等は燒棄されたり

●義勇艦隊と郵船　米國上院は義勇艦隊設立案を通過し日本海及ひ支那海に於けるものを合して十三の郵船會社に保護金を與ふることゝなれり

●清國視察員出發　清國視察委員の一行は獨國ハムボルグに向ふて米國を出發せり

●獨佛協商中裁尙早　伯林に於ける風說に據れは獨佛兩國直接の協商また絕望に歸せさるを以てアルジェシラスに於て仲裁を試むるは尙早しと云ふ（二月十六日發電）

●國民兵役の宣言書　ロバート卿は國民兵役會の宣言書を發表せり其目的は聯隊的訓練を諸學校の教課目に加へ卒業の後ち四ケ月の間海軍若くは陸軍に服役せしめて國民一般に義務的訓練を受けしむるに在り

●マンチカの珍事　メリラに接近せるマンチカに於て不思議なる事件起れりメリラには佛國の製造所あり佛國汽船ゼニス號かマンチカに寄港せるにモロツコ國巡洋艦ターキに發砲追擊されたり海岸に於ける押領者の砲列はターキに向つて砲擊を開始せしが佛國巡洋艦ヲロード來り會して之れに干涉し瀛船ゼニス號をしてオランに回航せしめたり

●コロンビヤの地震　コロムビヤに於て地震あり一週間繼續せり北部エクエードル及ひ南部コロムビヤに於ける諸町村は多數の家屋を破壞され數百の死者を生するに至れり

●清國暴動と滿洲人排斥　清國駐箚米國公使コンガー氏の信ずる所に據れば清國に於ける今回の暴動は外國人排斥にあらすして滿洲人排斥に在りと（以上二月十七日發電）

●獨國の正式提議　モロツコ會議に於て獨國代表者ロドウイツ氏は佛國代表者ルボイル氏に對してモロツコ國の警察權をモロツコ國王の手に委し列國をして之れを監督せしむべき旨正式に提議せり然れども該提議は佛國の同意せざる所なり

●佛露條約の通過　佛露通商新條約は佛國元老院を通過せり

●アリス孃の結婚　アリス、ルースベルト孃は華盛頓に於てニコラス、ロングウオルス氏と結婚せり（以上二月十八日發電）

●佛國の條件附同意　佛國政府は獨國政府の提議に對し佛國人若くは西班牙人を以て上官と爲すべき條件の下にモロツコ國の警察權を同國王の手に委すべきことに全意すべき旨回答せり

●瀛船砲擊問題　佛國瀛船ゼニス號か砲擊を受け同國巡洋艦ラロードガ之れに干涉せし時にゼニス號は押領者の爲めに武器彈藥を陸揚げしつゝありしこと明かなるか如し之れが爲めに困難なる一問題を生するに至れり

●前佛國大統領の官邸引拂　前佛國大統領ルーベー氏は昨日正式に大統領官邸を引拂へり（以上二月十九日發電）

雜報

●米淸兩國の關係　淸國に於ける排外思想の勃興に就ては歐洲列國の一般に驚愕する所にして數週間以前よりの形勢は一層甚しくなりたるものあるより麻尼拉に在る米國人は華盛頓駐紮の淸國公使の擧動に關して注視を怠らす且つ米國政府は淸國に對する戰爭行爲の到底避くへからさるものとして其準備に汲々とし麻尼拉政府は再ひ極東に於ける紛擾渦中の中心點たるへしと信し居り米國の陸軍省は至急五萬の陸兵を極東に送り麻尼拉を以て其主動地と爲さんが爲め兵營、糧食、兵器其他一切の準備を爲すへき旨の訓令を與へたりとの確報に接したる由

●極東總督更任說　露國にては今回リネヴヰチ將軍の歸西後は前黑龍江沿道總督グロデコフ氏を以て極東總督に任すへき由は豫て新聞紙上に傳へらるゝ所なるが露都電報通信社は總督に任せられたりとの風說を之を以て誤報なりとし極東總督の地位は再ひ補缺せらるゝこと無かるへしと否定し唯たグロデコフ將軍は滿洲軍總司令官に任命せらるゝことゝなるやも知るへからさる旨半官的に聲明したりと云ふ

●論功行賞日附　陸海軍兩省及參謀本部各師團司令部に於て調査中の日露戰役の論功行賞は追々進行しつゝあるが其發表の日附に付三說あり
一、海軍の論功行賞を發表する第一回の日附と同一にする事
一、平和克復當日の日附と爲す事
一、大本營解散の日を以て發表の日附と爲す事
此日を以て一般の論功行賞日と爲すべしとの一說あり平和克復大本營解散の時日を以てする時は其後に功績ある運輸通信部、軍馬補充部、俘虜情報局等の如き者に及ばさる事と爲るの虞あれば全部を均一に調査するの方針を執らるべきかと云ふ

●招魂社臨時大祭　東京電報の報する如く來る五月一日より三日間靖國神社臨時大勅祭御執行の事に御治定相成り委員長には野津大將任せらるべく陸海軍より數十名の將官將校委員と爲り大元帥陛下皇后陛下、東宮殿下、の行幸啓を仰ぎ奉り全國及び韓國滿洲樺太臺灣等より數萬の軍隊參拜すべく右は四月二十八九日頃までに着京し約一週間東京市内の各所に宿營する由

●淸國學生の後悔　淸國留學生中交部省令を誤解して同盟罷校を企て上海に大學堂を開設するの目的を以て歸國せしもの一千餘名の多きに達したるが之に要する錢資は到底學生輩の支給し得る所にあらずして大學建設論は間もなく立消えとなりけるが字林滬報は學生の境遇を氣の毒がり同地に一大學堂を開き外人をして教習せしめむとを外人間に勸告せしも外人等は皆彼等の日本に於てせる盲動に辟易し是に應ずるものなきより學生等は空く廢學するの外なく今更先非を後悔し復校のために我國に來らんとするもの多し

●俘虜の勳績調査　同胞俘虜中には捕虜となるまでに多大の勳功を樹てたるものもあれども捕虜當時の狀態が果して已むを得ざるに出でしものなるや否や不明なれば隨て今日まで勳績の調査もなさりしが審問結了の結果罪なきものに對しては直に進達する都合なりと

●米國海軍と魚形水雷　魚形水雷の効力は一時世界海軍間の疑問となり米國の如きは軍艦の水雷發射管を廢止したるも輓近同水雷改良の結果其効力を認め新計畫の戰艦ノース、カロライナ及びミシガンの兩艦には再び水雷發射管を備ふる筈なりと

●議員の凶作地救恤　衆議院各派の代表者は十一日議院に集會し東北三縣凶作地貧民救恤の事に就き協議し來る二十日までに各議員三圓づゝ醵出して事務局に取纒め該縣に分配送付する事となせり

●ジーチン號の冷遇　末松男爵一行はチーブルスより乘船後始終サイドテーブルに位置して冷遇を受け居れる由なるがロイド社は日本の人氣次第により船長の交迭を行ふべしといへり

●女學生袴の裾かざり　大坂の相愛女學校にては近來實際女學生に非ずして女學生の態を裝ひ學生の體面を害ふ者あるを以て同校生徒等をして凡て着用せる袴の裾の邊りに橫に浪形の細き白色の布を縫ひつけしめ居れりと

●軍使の自殺　沙河對陣中軍使として敵の軍營に到り其儘捕虜となりたる騎兵曹長西脇喜一郎氏は同胞俘虜一同と共にメドウエツチに着せし夜ナイフにて咽喉を突き自殺せりと

●戰死乘馬數　陸軍將校中佐以上の乘用馬匹にして日露戰役間戰死したるものは總計約一千八百頭なりといふ

●出稼三萬九千　例年靑森地方より各方面出稼するもの約三萬人なるが本年は樺太へも志へものあるより三萬九千餘人の多數に上るべく近々輸送を開始する都合なりと

●原口氏の招聘決定　淸國政府との間に屢々交涉中なりし鐵道技師原口要氏は愈々年俸一万二千圓及び鐵道材料一切を本邦の手を經て購入する條件を以て淸國に招聘せらるゝ事に決定したりと

●各大臣の義捐金　東北地方凶作につき救濟金として西園寺首相以下各大臣は金二百圓づゝを寄贈せり

●某將軍の憤慨　金州丸事件は當局者の間には旣に事態明瞭となり居る由にて樞要の地に在る某將軍は是れ帝國軍人の面汚しなりとて罹名中隊長以下の怯懦を憤りて已まず彼等の歸着すると共に墓所を作り置きて一同に割腹を命ずべしと語り居る由

●富籤興行請願　大分縣下毛郡中津町長武田直道より左の請願書を去五日衆議へ提出せり
戰後の經營は先づ財政を整理するを最も急務とす而して財政の整理は軍費を補充するを以て緊急と爲す是れが整理の策として富籤興行を公開し軍費の幾分を補償し更に町町の基本財產を造成する方法として町村に富籤興行を公行すること最も時機に適するの良策なり

●馬肉禁食會　滿洲より凱旋する軍馬の不用なるは各師團にて競賣に付せられ食用の爲め屠殺せらるゝが多く戰士が勳章の榮を佩ぶるに引換へいとも不仁慘酷の甚だしきものよとて福井縣武生町の龜谷伊助といふが本會を興して軍馬の戰地に於ける責めてもの慰勞をなさんとし同志を募れり

●軍政署の獨立　在滿洲各地軍政署の凱旋と共に牛家屯に於ける營口兵站司令部も愈引揚の命に接し、數日前已に引揚を了したるか、爾後に於ける業務は停車場司令部の如きも一切牛家駐在の守備隊に於て引繼くことゝなり、現に兵站業務取扱所の名義を以て業務を執りつゝあり、就ては營口兵站司令部の管轄なりし軍政部は去る十三日獨立して元の如く營口軍政署となり、矢張り當兵站司令官たりし與倉中佐は依然其長たり、從て兵站司令部の下にありし軍政部は兵站司令部と其所管を異にし全然區別さるゝことゝなれり、然るに從來軍政部に在つては可及的公衆の利便を圖ると云ふことを主眼とし、或は筆紙を貸し、或は衆民の事務室に闖入し來る如きことは默假し置きたる由なるか、斯くては事務の妨害となることもあり、各自注意を要す可きものとは或る實見者の言なり、又兵站業務取扱所は云ふ迄もなく、軍隊の兵站業務を專らにする軍衙なるを以て、軍隊外のものに對しても懇切周到なるは云ふ迄も無けれど、御互公衆に於ても出來る丈。兵站業務の妨害とならさる樣注意したきものなり、殊に公衆の提出する請書類の如き、能く兵站業務取扱所と軍政署との區別に注意し、其筋の煩累を增す如きは各自注意すべきことゝ云ふべし

●仙波少將の歸任　數日來滯營中なりし仙波少將には營口の視察も一通り遂けられしを以て一昨日大石橋へ歸任せられたり

●岡島中佐の來營　大石橋兵站司令官として久しく兵站事務に鞅掌して令聞ありたる岡島中佐には昨日來營兩三日滯在の上歸任せらるゝ筈なるが尙同中佐には來月上旬を以て內地へ凱旋せらるへしといふ

●川崎鐵嶺軍政官の疾病　川崎鐵嶺軍政官には此程急病に罹られたりといふ

●軍政署副官の來任　元六十三聯隊聯隊副官四本大尉は今回當營口軍政署副官に任命せられ昨朝大連より來任せられたり

投書かご

▲此頃市中で元祿髷の一間許りも天に朝した灰殼式の髮を振り立てゝ行步く後家さんが居るそれは何とか洋行の未亡人で枯木に花を咲かす積りぢやが一向に拾つて吳れる者が無いドレ乃公が一つ手入をして見やうか（助六）▲〇〇洋行の眼鏡のチヤンコイテは店中の若連中を牛家屯へ放逐して晝夜三毛猫を引込ん居る牛家屯ではそれを嗅ぎ付けて斯ういふ時に飮まなきや飮ふ時が無いと言つて居る（浦山師）▲何月とかの女將が藝妓虐待は有名なものぢやがそれは亭主が摘み喰ひをするからの燒餅ぢや（物知生）▲都樓の若蝶はんは易を後廻はしにして貰つてヤレ暫く安心だと喜つて惡魔拂でもしたやうに思つて居るげな（或男）

●藝妓仲居周易判斷　朴捨老

春帆樓　おりん

本名山下林子（明治十三年四月一日生）

誰ぢやイそこの垣の外から覗いて御座るのは、はんに背の高い女もあればあるもるぢや、用が四かなら遠慮なしにサツサと表門から這入らつしやれ、オヤ〳〵誰かと思へばお前さんは半鐘泥棒のおりんさんへゝゝゝゝゝマア〳〵怒らつしやるナ、ぢやが近頃は又メツキリ器量がよくならつしやつたナ、何に上げたり下げたりするなへゝゝゝゝイヤ本統ぢやマア若い內が花ぢや〳〵時にお前さんも何かへ易を見て貰いに、をつとよし〳〵先づ其處に座らつしやれ、併し先生甚だ勝手を申上やすやうですが、どうか餘り素破拔かないやうにねー先生、イヤ素破拔くと云ふ譯のものぢやない卽ち愚考が易、はつまり百發百中、よく當るのぢやからお前さんの身の上に現はれる事なら致方が無いのぢや、サア先づズツト側へ寄らつしやい

扨てお前さんの生れ故鄕は日淸談判で大騷動のあつた下の關で御座らうがな、お老爺さんの名は幸吉さんと仰しやつてお前さんは其總領娘で本名を山下林子さんと云はつしやらうがな、親ごさんは代々商人さんで今も唐戸町に酒屋をして其片手間に宿屋もして御座らうが、お前さんは幼少の時から兩親に玉のやうに育てられ段々年頃になるに連れ母では惡い虫の附かぬうち早く良緣を求めたいとて四方八方駈け廻り心配さつしやつてヤツトの事相談の纏まつたのが當世流行の軍人さん、しかも貧棒少尉の奥樣に片付て苦しい世帶を辛棒をして御座つたが、どういふ因果の回り合か其少尉殿に緣がなくてスゴ〳〵親元に歸られたであら、ふ夫れから暫らくして又候今度は丸切な商賣違ひの鉄道やさんに嫁入りさつしやつたが此方とは餘程チン〳〵と見え風呂へ行くのもお二人連れで人の見る目も浦山しくお面白お可笑う暮して居たが其後主は朝鮮の京釜鐵道とかの工事に行かねばならぬ仕宜となりお互に離れ〴〵では誤得心がゆかぬと見え、とうどう鳥も通はぬ玄海灘を御夫婦連れで渡らつしやつて何でも釜山あたりでチン鴨をきめこんで御座つたがあまり御夫婦中の好過ぎる爲めか、天道樣でも客氣をせずに居られなかつたか、どうだか胴慾も大事の〳〵御亭主をば無情の風で攫い渋らつて三途の川に轉任を命じたのさ、何と其時のお前さんの嘆きてつたら餘所の見る目もあまる程で御座つたぞえ、愚老もホト〳〵お察し申すは、南無阿彌陀佛〳〵（まだある）

從軍紀念碑銘　黃山

三十六峰、遠從北來。巍然秀、爲石藏山。擁孤村、而蜿蜒蛇走。一水在其東。中斷村家、滔滔南流。而與山同趨向、合北上河。之爲砂鑛川。村曰門崎。屬巖手縣東磐井郡。村治分爲八區。第二第三、在水西。爾餘六區、則在水東。明治甲午二十七年、出師膺懲淸國自第二區、起後之者、新關泰躬、一人而已甲辰之春、與露國構兵、海戰陸鬪、二閱年。從軍連奏捷。皇威加乎宇內、國權伸乎宙外。洵是曠古一大盛事矣。步兵少尉新關泰躬、憲兵軍曹鈴木與右衛門、步兵伍長鈴木吉五郎、一等卒鈴木楊治郎、鈴木養吉、二等卒鈴木陸右衛門、鈴木彌介、鈴木作汰郎、砲兵輸卒千葉寅吉、輜重輸卒千葉善三郎十人亦與焉。比之於征淸之役雖加十九、覩於他七區、未能無遜色。然至所以委身鋒鏑、效命君國者、則一也。乙巳歲一月、鈴木吉五郎、戰歿於黑溝臺。鈴木楊治郎、亦傷焉和成凱旋者、日相望。而十人中、旣亡一人氣其令名巍然石藏山、不足以爲高。滔乎砂鑛川、不足以爲深。若是不啻爲一身譽、抑亦第二區之榮矣。今同志胥謀、將磨石勒其事、以勵後人。謁辭余。乃繫以銘。銘曰、委身君國、從戎滿洲、無存無亡、令名是伴其忠其義、山秀水流。

汽車

▲上行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
新民屯至瀋陽	上六、〇〇	上九、五七
營口至山海關	上八、二〇	下六、〇〇
山海關至北京	上一〇、一八	下六、二〇

▲下行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
北京至山海關	上八、〇〇	下六、二〇
北京至天津	上一一、二〇	下五、四一

野戰鐵道普通輸送列車發着時刻表

大連奉天間　下り列車

驛名	發着時刻
大連	發午前九、〇〇

上り列車

驛名	着	發
遼陽	着午後三、五〇	四、五五
大石橋	着 一〇、三二	發 一一、三五
金州	着翌前 二、二〇	發 三、一〇
大連	着 五、三〇	

旅順大連　上り列車　旅順發午後二、〇三　大連着五、三二

營口線　下り列車

天氣

營口地方　自昨日午後六時至本日午後六時

雜報

●關門海峽架橋計畫

山陽鐵道社長牛場卓藏氏の語る所に據れは低利の外資借入の上山陽九州の二大幹線を聯結して事實上の貫通鐵道たらしめん爲め本土と九州との接續點に一大鐵橋を架して兩鐵道乘換の不便を省き今後產業の進步に伴うて益々增加すへき集散貨物を吸收する時は一千餘萬圓を投して竣工せしむるも架橋の當初こそ收支償はさることあるへけれ各地の繁榮に連れて次第に貨物集散額の增進を促し遂には一般社會の經濟并に交通上多大の裨益を生するは明白なれは外資成立以前に於て詳細の調査を遂くるの必要ありとの意見にて近日中其の調査に着手すへしといふ右架橋工事は固より九州鐵道と協同合議の上遂行せらるへきものなるも是れ兩鐵道の多年の宿望にして兩社とも低利の外資を充用し得るに至らは九州鐵道の贊同疑ひなきが如し今關門海峽中最も架橋に適する地點を求むるときは長門壇の浦より對岸門司東端の突角にして其距離約六町、其高さは船艦通峽に支障なからしむる爲め滿潮海面を拔くこと六十尺ならさるへからす從つて山陽鐵道は線路の一部を變更し長府より分岐して緩高勾配となりて鐵橋に入り九州鐵道現門司停車場より海岸に沿ひて鐵橋の一端の聯結せさるへからす唯海軍省に異議なかるべきや否やの一點か當事者の懸念する所なりとす目下倫山鐵交涉中の外資額は惟上の噂のく一如千万圓に非すして二千万圓なるの一事は這般の消息を推するに足るへく昨今交涉中の外資議協は雙方の間手取金額百圓に付僅に一圓未滿に端金に付き折合付かさる爲未た調談せさる次第なれは例年三月以降倫敦市場の金融緩漫の期に入らんには外資成立すへき見込ある故に本土九州連結鐵橋は外資借入の模樣により意外に早く事實として現れ世の視聽を惹くの時機に達することあるへし

玉島少女

其六　春山

其年も暮れ、正月も過ぎ、餘寒の烈しい風も大方鎮になつて、龜戸の梅蒲田の梅も散いて牛込の屋補の垣、空地の畑にも梅の白いのが見え始めると、夜の散步にも蛙の聲が何處となく聞えるやうな好い氣候になりまして、やがては上野公園の彼岸櫻、私の好物の蓬餅の、櫻餅、流石に樂しいのは春です。

裏の竹籔の蔭に、滿開の櫻二株、傍の猫の額のやうな畑には、菜の花が黄く咲いて、芝地には菫やら、蒲公英やら、私の家の周圍にも長閑な春は遍ねく行き渡りました。其日は昨夜からの雨が續いて、嵐まじりの、今年の花もモー之れでお仕舞など〻考へられまする空模樣、二階の硝子窓のカーテンを片寄せて見ると、灰色鼠色などの色彩の変つた物象の中に、紅は駭き、綠は騷ぐと申す繪のやうな光景。隣の庭の櫻は夥しく濡れて、向ひの黑塀には、一面に落花が貼られてあるのでした。

私はレナウの詩を久し振りで思ひ出して、ぢつと立つた儘、暮れ行く春の光景に見入りました。胸に迫るのは、實に申樣もない佗しい悲しい思ひ、下唇を固く噛んで、強いてそれを押へても、猶ほ涙の如く頰を濡らすのでした。私の春も樂しい春もモー夢のやうに過ぎたのですもの。

私は泣いて泣いて、心ゆくばかり一人で泣きました。ふとかういふ時に、琴でも彈かうと思ひました。長女は下婢に連れさせて近所の親類に遣はし、二階の六疊に琴を据ゑて、靜かに琴柱を配りました。想像して下さいませ、硝子窓の外には、落花の雨、嵐の横しぶきに吹付けまするのを他所に、靜かに彈き始めたのは長恨歌の曲。

その懷しい昔の調べ、何んなに私の胸は躍つたでせう。私は中途で、昔しを思ひ出して、思はず爪を外しました。

其日の午后です、夫は俥でこの風雨を衝いて歸つて參りましたが、いかにも何事にか慌てた樣で、何か私に言はうとしては言ひそびれるといふ樣子。不思議に思つて居りますと、鳥渡來い、お前に是非話さなければならんとが出來たからと申して、私を二階の書齋に誘ひました。

で、私と夫とは其處に坐つたま〻、暫くは默つて居りましたが夫は思ひ切つたと云ふ風で、

お久、お前にこんなことは話せんけれどナ……。

と言懸けて、少し口籠つて、「私は悪い事を爲た。先づお前に謝せんければならん………。」

「何ん、すの。」

「モー、醫者が今夜にも危ないと言ふです。」

「危ないとは何誰か。」

「マア、私の行つたことは堪忍して呉れ實にお前には申譯ない。」

謎のやうな言葉、私は解らぬながら胸を躍らせました。

「一體何うしたと仰るの………。」

「私に情婦があるのだ。そしてそれが、モー、死ぬと言ふのだ。」

投げるやうに夫は言つた。その妻矢に裂しく貫かれたのは、私の胸。

「え〻。」

「私が悪い、皆な私の罪だ」と少時くしてから、夫は言葉を續いで、「けれど、何も彼も皆んなお前に懺悔して了ふから許して呉れ。」

「一體、何う………。」

「昨年の春、私は京都から岡山に行つたが、今回の事は、實にそれが始めで私て、は其時から戀の俘虜に爲つたのだ。……… 先づ始めからすつかり聞いて貰はう。こんな事を聞くのは耳の汚れと思ふかも知れぬが、其罪を悔いた夫として酌んで聞いて呉れ。

私はお前に玉島の事を話した。その時金神（元大谷と云ふ）驛へ下りて金光敎會の本部へ參詣した事やらその近邊に美しい少女が見當つた事や、會話の優美な事を話したのを忘れはすまいその玉島少女の一人だ、今死なうとして居るのは………。」

夫はさま〴〵の感の胸に衝き上げて來るのに堪へ兼ねたやうに激昂して言葉を留めた聲、遂に、「もう何しても助からぬと醫師の言ふのだが……實に可哀想でならん。」

「ではモー東京に。」

私は愈々胸を躍らせました。

廣告

東北凶作地窮民義捐者芳名

金額	氏名	
一銀五百圓	軍政署	營口
一同五圓	無名氏	
一同二圓	坂東、權作	大石橋
一同二圓	吉井德藏	滿洲軍倉庫
一同一圓	利根川熊作	營口支庫
一同五十錢	小林太郎	
一同一圓	村吉伊仲次	
一同一圓五十錢	中村勇雄	
一同一圓	小泉正雄	
一同一圓	山口貢	
一同一圓	木村隆二	
一同一圓	中村鑑雄	
一同二十錢	日下部助吉	
一同二十錢	庄司猪三郎	
一同二十錢	齋藤銕次郎	
一同二十錢	岩井兼太郎	
一同一圓	岩間秀博	
一同五圓	無名氏	
一同三圓	泉澤精二	
一同五十錢	丸山與四郎	
一同一圓	加藤正彥	
一同一圓	明石桂吉	
一同七十錢	岸下金藏	
一同十錢	外山瑩三	
一同十錢	森川與三市	
一同二十錢	竹川治郎松	
一同十錢	澤都宮助	
一同二十錢	澤田幸太郎	
一同十錢	內田信太郎	
一同十錢	大塚島吉	
一同二十錢	六家喜一郎	
一同十錢	藤井清太郎	
一同十錢	村本德太郎	
一同一圓	增田卓一	
一同一圓	源代猪三郎	
一同二十錢	宮下由松	
一同十錢	山田喜作	
一同一圓	川島義賢	
一同五十錢	大崎幾之丞	
一同二圓	富永慶一郎	
一同一圓	山內惣作	
一同二圓	無名氏	
一同一圓五十錢	八木沼喜重	
一同一圓	高見與八	
一同二十錢	堀口久六	
一同十錢	加志芳松	
一同十錢	禰清太郎	
一同二十錢	纐纈善次郎	
一同五十錢	藤原幸次郎	
一同五十錢	鈴木喜太益	
一同五十錢	白坂市松	
一同五十錢	播磨庄太郎	
一同十錢	原茂市	
一同十錢	白井金十郎	
一同二十錢	水野慶助	
一同一圓	白木太吉	
一同十錢	安藤吉彌	
一同十錢	桂川庄吉	
一同十錢	上村辰次郎	
一同十錢	安藤鐵造	
一同十錢	千明瑳一	
一同十錢	權太壽一	
一同一圓	各務清次郎	
一同五圓	細川一郎	
一同一圓	大塚德次郎	
一同五十錢	松波彌七	
一同十錢	淺野長右衛門	
一同十錢	川口市之助	
一同十錢	鶴谷榮次	
一同十錢	橋元甚三郎	
一同十錢	加藤隆松	

金額	氏名	
一同十錢	水上長藏	
一同二十錢	小倉山吉	
一同五十錢	杉山源市	
一同三十錢	水上飄眞	
一同五十錢	無名氏	
一同十錢	谷內見志松	
一同五十錢	小塚德助	
一同五十錢	片田益一	
一同一圓	齋藤利敬	
一同五十錢	田村賢次	
一同二圓	平手鈴吉	
一同五十錢	佐々木新太郎	
一同二十錢	高澤靖愷	
一同二十錢	伊藤庄平	
一同十錢	平井孝次郎	
一同十錢	千藤助作	
一同十錢	池田常次郎	
一同十錢	上田正吉	
一同十錢	齋藤末藏	
一同二十錢	西仁太郎	
一同十錢	口林政次郎	
一同二十錢	下和三郎	
一同二十錢	永谷三次	
一同二十錢	眞野駒次郎	
一同十錢	大野儀右衛門	
一同十錢	龜田外治	
一同二十錢	長谷川榮作	
一同二十錢	遠藤熊藏	
一同二十錢	石井源吉	
一同五圓	熊田兼次郎	營口東京樓
一同一圓	仝なつ子	
一同一圓	島井政次郎	
一同一圓	柴田金五郎	
一同五十錢	山城年七	
一同五十錢	中山高晴	
一同二圓	關よそ	
一同一圓	庄山はつ	
一同一圓	島井いその	
一同一圓	辻りさ	
一同一圓	立川まさを	
一同一圓	祇園閣	營口二本町祇園閣內
一同十圓	田中とく	
一同五圓	小木曾しん	
一同五圓	渡邊ゆき	
一同三圓	西村吉三郎	
一同三圓	足立長次	
一同二圓	澤村米藏	
一同二圓	松島長吉	
一同二圓	湯川しゆん	
一同二圓	川崎よし	
一同三圓	中村はな	
一同二圓	棟新太郎	
一同一圓	馬淵すが	
一同一圓	鹽飽うの	
一同一圓	黑田つる	
一同一圓	島村ふみ	
一同一圓	十河ゑい	
一同一圓	木村みね	
一同一圓	龜田せき	
一同一圓	安村はる	
一同一圓	青木ふさ	
一同一圓	野田ひさ	
一同一圓	芝野いし	
一同一圓	中尾さみ	
一仝三圓	多田幸太郎	營口綏定門街
一同十錢	松本たか	
一同十錢	上田氏	同元神廟街
一同二十錢	尾辻しは	
一同三十錢	坂本みつ	永世街
一同三十錢	村上しの	仝元神廟街
一同四圓	松廼家	松廼家內
一同一圓	格田ます	
一同一圓	木邊ぶん	
一同一圓	大澤よし	
一同一圓	幸まつ	
一同一圓	酒井りゑ	
一同一圓	無名氏	
一同二十錢	佐々木吉治郎	第八師團第九補助輸卒
一同二十錢	小笠原長	
一同二十錢	工藤和次郎	
一同二十錢	管野萬治郎	
一同二十錢	佐藤小三郎	重盛街
一仝一圓	石勵品五行	西北街
一同二十圓	東申榮航	老爺閣布敎場
一同五圓	古川大寧	青堆子
一同十圓	清水市	
一同一圓	尾川常男	
一同五圓	入江熊	奉天日盛館（山金扱）
一同一圓	仝春日	

金額	氏名	
一同一圓	仝とよ	
一同一圓	仝かち	
一同一圓	仝すが	
一同一圓	仝菊く	
一同一圓	仝ろ子	
一同一圓	仝久次	
一同十圓	上野源則	營口商業學校
一同十圓	上野政郎	仝瀛華實學院
一同十圓	永井清三郎	仝
一同一百七圓	牛莊支店員一同	橫濱正金銀行
一同二圓	吉田豊太郎	在奉天群馬縣人

計八百三十四圓五十錢

通計二千四百三十四圓〇五錢

解雇廣告

舊書記　馬島晋三郎

右解雇す爾來本會に關係なし此段廣告す

遼陽日本人會

競賣廣告

第一號　一二輪荷馬車　千參百輛

第二號　一二輪荷馬車輓具　五百副

第三號　一人挽徒步車　三千輛

此入札保證金は各自見積代金百分の五以上

右競賣に附し賣却す入札望の者は當所倉庫に就き（自午前十時至午後四時）間現品及入札心得書並に契約書案等熟覽の上來る三月二十日（自午前十時至正午）入札書差出すべし但即時開札す

此契約は門司野戰兵器本廠奉天出張所長西野雄太郎擔任す

明治三十九年二月二十日

奉天停車場南方約八百米突に在る（山西會館附近）

門司野戰兵器本廠
奉天出張所

拍賣告白

門司野戰兵器本廠奉天出張所茲於日曆本年二月二十日在奉天倉庫拍賣車輛願欲包攬者每日自上午十點鐘起至下午四點鐘止須到該處詳看車輛拍賣知及合同樣式限於三月二十日自上午十點鐘起至晌午須呈入札書即行開札再立此合同者爲門司野戰兵器本廠奉天出張所長西野雄太郎

計開

第一號　双輪搬貨馬車　千三百輛

第二號　双輪搬貨馬車用車　五百副

第三號　人力單拉車　套三千輛

承買者均須將各自估價一百分之五先交作押

明治三十九年二月二十日

在奉天停車場東南方淸里一里半（山西會館附近）

門司野戰兵器本廠
奉天出張所

歸營廣告

旅行中之處歸營仕候條此段謹告仕候

南永世街　富田茂次

藝妓仲居新來御披露

此度新たに内地より藝妓仲居十數名を連れ參り候間御光來の上御評判の程願上候　草々

營口　高砂ホテル　高砂
（電話一四五）

御料理旅館　勉強館

奉天小西關外北長壽園隣

旅館料理屋に對する酒肴料其他不拂の御方は此際御拂込み相成度萬一督促再三に及ふも尚ほ不拂の御方は其姓名を掲け新聞紙を以て請求可仕候間豫め御承知相成度右は同業者協議の上及廣告候也

營口旅館料理屋同業組合

右今般新着仕候間可成至急御申込願上候

消火器

營口西北街　英治洋行

拙者儀今回都合ニヨリ大淸通運公司長ノ職ヲ辭退致候間此段謹告候也

竹野虎雄

今回竹野虎雄氏弊公司長ノ職ヲ辭退被致候ニ就テハ當分ノ內公司長ヲ置カス支配人川畑竹馬本支出張店一切ノ業務ヲ處理可致候間此段謹告候也

明治卅九年二月十三日

天津停車場內　大淸通運公司

北京　扶桑旅館

東單牌樓大街路西

客室淸潔料理鮮新

婦科靈藥　專治

奏功如神仙

名聲掩四海

中将湯

大日本東京津村[illegible]天堂
大藥房處修

此藥專治婦科諸症如經血子宮虛冷、白帶赤帶胎前產後諸症、惡阻、呑酸、吐水諸症、難產、流產、或漏胎不安諸症、經水不調、經期不順、或在經前經後病痛諸症、經逆復發、起火氣、手足腹痛、頭暈目眩諸症、衰男女感冒風寒及症瘕等症、誠救苦之妙藥、治世之至寶也、子宮病、血の道等婦人病一切の妙藥なり

總批發處大清國營口永世街(二本町)
藥司洋行
藥劑士　淺野大藥房

其他各國有名醫藥發售處醫藥及醫療器械

Yano & Co.

矢野洋行

電話一三七　Telephone No. 137

諸雜貨、家道具類、吳服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々

今回新荷着致候間直段も極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候

謹言

雜貨卸商

在元神廟口街 營口
關東公司雜貨部

石材、碎石
並に自家製造　廉價販賣
瓦、煉瓦

營口元神廟街四十號第二號
順吉洋行

醫藥賣藥醫療器械

菓子用藥品新荷着

重曹
硇砂
炭酸安母
ヲーラミン其他

東瀛大藥房
營口永世街

奉天日本旅館

瀋陽館

客室宏壯清潔
接待優遇懇切

開放全時一開業
奉天小西門外大街路北

森病院

一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時

一往診　午後三時より

△患者の入院治療を許す
△貧困患者の施療は正午十二時より一時迄但患者の入院を許す(殊に全任[illegible])

院主　森 [illegible]
醫長　鈴木昌平

營口永世街(電話一五五番)

東營口郵便局東隣
島田洋服店

新民屯停車場前
同支店

會席料理
三日月
營口警務部前南に入へ

SPECIAL LIGHT
(PILESNER BEER)

スペシャルライト賣出し

スペシャルライト、はピルスナビールにして此種のビールは日本に於ては弊社始めて之を釀造せり
スペシャルライト、は高價を拂ひて元料を特選せり
スペシャルライト、は其味輕くして高尚なり

釀造元　大阪朝日麥酒株式會社
營口發賣　關東公司雜貨部

標子
木板
料木
發賣

營口青堆子
清水寧木局

一關內外蘆漢鉄道貨物運輸　但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ヘ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候
一海關手續　但弊店事務所及鄒船會社代理店内派出員ニテ事務取扱
一鈔關手續　但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一船舶荷物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業

右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候

營口西北街第二七二號
大淸通運公司
營口支店

M. Iizuka,
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL EGINNEER.

Plans and specifications made to order.

ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

營口中央市場前
萬事勉強乘車殊ニ好位置

旅館　東京樓

店主　熊田兼次郎(電話百七十八番)

即席和洋料理　東京樓支店(電話四十四番)

西洋料理仕出し御需應にず

雜貨
醬油
木炭
すし米
清酒　大樽 半樽

營口西北街
阪神組

滿洲　大販賣所

營口出張店は結氷中引揚ゲ候ニ付御用向ノ御方ハ遼陽出張店ヘ御來店アリタシ

遼陽停車場前
池上出張店

奉天
池上出張店

軍隊用雜貨
日用品雜貨
吳服太物類
化粧品類
陶器類
食料品類
卸小賣

其外新荷着精々安價販賣

營口永世街七十號(第二市場西)

石原商店

官製口付莨、文房具
和洋酒類
白米
罐詰、菓子
藥品、雜貨
醬油瓶樽詰
卸商
防寒具、安價販賣

營口西北街

(電話十三番)
豐生洋行

景品御料理御披露

私儀去月中原料並に道具仕込みの爲め歸朝致し居ましたが此程種々の珍品を仕込みて立歸りましたを幸ひ平常の御引立に酬ひ度と思ひますので此際更に大勉強をしまして從來の御料理を吟味します外新に左記の價額にて釜飯湯豆腐の二品を加へ籤引景品を差上ます

新御料理

加藥飯　御壹人前　銀五拾錢
親子飯　仝　上
湯豆腐　一鍋壹　銀貳拾五錢

但釜飯は加藥親子何れでも御二人前以下は御調進出來ませぬ
景品は御勘定(銀貳圓)に對し一枚の割にて景品券にて差上げ置き今回の總數凡二千枚を出し盡しました時に有志の御方々の御立會ひを乞ひまして籤引致し景品券を引換へに差記の景品を進せます何卒陸續御入來之程を偏に希ひます

景品目錄

第壹等		銘酒澤鶴		七樽
第貳等		仝		三樽
第參等		五匁附純金指環		壹個
第四等	二本	銀側懷中時計	(代價二拾圓)	壹個宛
第五等	三本	旅行用皮製カバン	(仝拾五圓)	壹個宛
第六等	四本	旅行用化粧道具	(仝拾圓)	壹個宛
第七等	五本	膝掛け	(仝八圓)	壹枚宛
第八等	六本	絹紬	(仝六圓)	壹反宛
第九等	七本	メリヤスシャツ	(仝五圓)上下	壹組宛
第十等	八本	巻烟草入	(仝貳圓)	壹個宛

明治三十九年二月十日より

元神廟街
翁亭
長谷川金次郎

時刻
唐山至天津　上六、□□　上一、二八
塘沽至北京　上六、〇二　下一、〇六
天津至北京　上一二、〇〇　下五、二〇
山海關至北京　上八、〇〇　下六、四五
天津至山海關　上六、二五　下六、二一
唐山至山海關　上六、〇〇　上一一、五八
山海關至營口　上七、〇五　下四、五五
溝邦子至新民屯　上三、〇〇　下六、五七
遼陽 發 奉天着午後 六、二三 奉天 發 遼陽着午後 一二、〇六
上り列車 奉天發 遼陽着午前 一一、〇〇 七、二〇
驛名 發 着 時刻
大連 發午前 七、三〇
旅順 着 一〇、四九
營口 發午後 十〇、二五
大石橋 着翌前 一二、二〇

宮門抄

二十三日　戶部　宗人府　正白旗值日無引見　掌儀司奏二十九日祭
奉先殿醇王行禮
召見軍機　張百熙

上諭恭錄

二十三日奉
上諭西安將軍長春著開缺來京當差欽此
上諭廂黃旗漢軍副都統毓肅正白旗漢軍副都統溥侗委散秩大臣阿克東阿屢次託故告假實屬當差懶惰有曠職守毓肅溥侗均着開去副都統阿克東阿着開去委散秩大臣以示薄懲欽此
上諭出入扈從各項當差人員應如何動慎供職嚴肅整齊乃近來值班各員每多疏誤甚至例應侍班人員亦伏任意不到並時有無故請假情事實屬不成事体除毓肅等已有旨懲處外嗣後御前乾清門侍衛等散秩大臣大門侍衛等如再有懶惰偷安曠誤職守者着御前大臣隨時查明不准瞻徇情面據實嚴叅欽此

論說

論對於列強和平之說之準備

自有歷史以來。世局之劇變。往往在戰爭以後。試觀歷史記載。戰後之情狀。必與戰前大異。蓋戰爭者。蛻舊開新之一大動力也。準是以推。則列強視線。蝟集於遠東戰事之結局。以各定其世界政策。固有可以豫知者已。我中國居於日俄戰爭最受波動之漩內流。而可不外思抵制。以弭侵略之強權。內斷整頓。以獲和平之幸福乎。中國自海禁開。而強鄰環伺。凡屬白人。莫不鷹瞵虎視。逐逐眈眈。視中國若俎中之肉。囊中之物。思得一臠以爲快。然一兎在野。百人逐之。一金在野。百人競之。各國相持不下。於是有侵略保全。兩派分焉。俄以侵略爲主義。日以保全爲政策。遠東事起。磋商數月。迄協商不成。戰局一開。法德雖強未敢以兵力助同盟。非恐英美之爲盾於其後耶。故陰播黃禍之說。聳動全球。冀以種界制黃人。而實踐其瓜分之說。此中國人所深憂者也。乃俄自旅順奉天既陷以後。復於對馬一戰。波羅全滅。海將無存。侵略派諸國。應亦聞之而色變矣。乘此時機。出作調人。以樂樹和平之基礎。不獨中國之福。抑亦世界之幸也。說者曰。日俄之戰畢。美國聯合列強。照會中國。申明決計保全中國領土。此我國上下所深自慶幸者也。雖然。有不可遽爲慶幸者焉。夫歐美各國。揭於俄人黃禍之說。不能無所動。必不欲日本在東方得極大之勢力。而謀及其將成未成時。先有以限制之。不使所得過大。遂創保全之說。非厚於中國也。薄於日本而已。且彼人之意。亦非專防日本也。彼之意中。視日本一國地小民寡尙非所忌惟日本既成東方強國。則本其種種之感情。必有一日扶植中國。而擯歐斥美。以達其天然之目的。則於己爲大不利。不如及今摧折之。使中國終古不復振。其人類亦窮促以壟日本。日本雖在。亦孤立而難爲。則神州大地。永爲歐美之產業矣。質而言之。則其主義。在絕中國興盛之機限。日本進取之路。而又可以博現在之美名。以邀將來之權利。其表面雖可親可敬。其內容實最酷最烈。侵略之滅人國也。如虎之噬人骨肉。猶見其形。保全之滅人國也。如狐之吸人精髓。不知其害。其所施之手段不同。而受之者之結果則一也。然則侵略爲中國之憂。保全亦非中國之福。中國遂終無和平之望乎。曰是又不然。抑視我政府此後之政策何如耳。證之歐洲外交之歷史。保全者分割之假名也。假名之保全。較實際之分割爲尤烈。此非創行於亞洲也。幾爲各國公用之手段。昔日英法二國不同盟。何能執埃及之權。俄德與三國不同盟。何能墟波蘭之國。英葡法德不同盟。何能分非洲之土。然藉他國之保全而因以能自保全者。其例亦繁。如一千八百一十五年。英俄布同盟而保瑞士。一千八百二十七年。英法俄同盟而保希臘。一千八百三十一年。英俄法布奥同盟而保比利時。此尤昭昭在人耳目者。原其同盟之主義。各爲維持均勢。擁護公益而起。而瑞希諸國。亦具獨立之特質。不致終屈於人。故各國能盡保全之實際。而非等假設之同盟。由是以觀。中國能爲瑞士比利時。列強即待以瑞士比利時。中國甘爲埃及波蘭。列強即待以埃及波蘭。故中國將來之種種希望。種種幸福。不必恃列強之保全。而深望中國之能自保全也。自能保全之道維何。首當取法日本。豫定立憲年限。俾國民之常識漸開。舊習漸改。磨勵既久。當不難副此立憲國之風也。次則以立憲之意。告之列強。內有自治之權。外有獨立之權。復於疆域人民物產秩序。竭一國之力以保全之。勿使他國侵害。以背公法。迄立法行法司法。三者俱備。收回治外法權。永使民教相安。外人亦樂從事也。又其次則凡遇外交事件。視輿論以定從違。諒不至若秘密政策之屢受人欺而不覺。況路礦實爲民利。定於公論。則杜弊不難。財貨出自民身。定於公論。則籌欵較易。又何必藉民之口。而不以輿論爲定評哉。至若西北之邊防。東南之海防。尤宜造器械。養士卒。以備不急之需。官吏之腐敗。學堂之虛設。尤宜廣教育端人心。以成有用之才。農商之窒礙。工藝之苦窳。尤宜去舊習仿新式。以立富強之基。無一非今日之要務。即無一非今日之急務。我苟不能思患豫防。而一一整頓於先。不惟不能藉他國之保全。以增將來之幸福。即欲他國之永遠保全如今日也能乎。

中外要聞

●對待俄約之策　昨俄國駐京公使至外部會晤譚貴部大臣曾將所開條約擬定否其中有關係教會之事本大臣不能干預因有駐京主教管理教徒貴大臣當與主教另提教會條欵云外部電告北洋大臣袁宮保略云桐奉諭旨致電宮保速籌對待俄國條約要欵妥即詳細電覆

●試辦地方自治策　昨由政務處達電於直隸總督云直省試辦地方自治情形務卽通咨各省一律仿照辦理

●電告教民數目　聞外部人云新疆巡撫日前電告該省貧民奉耶穌教者七百三十人奉希臘教者六百十一人均漢人流氓家無恆產云

●對調之說作罷　茲聞鐵大軍機與袁宮保有對調之說探其原因實由慶邸失寵內廷無人贊理朝政　太后乃有此意昨瞿大軍機力保慶邸袁鐵互調之說今已罷論矣

●撥兵防剿　盛京將軍趙電致政府現在錦州一帶馬賊猖獗請即撥兵防剿等語政府據情電致袁宮保來電已派撥第四鎮陸軍開往錦州駐紮

●允游歷未允驗鑛　法國駐京公使照會外部據稱土耳其官嗎哩雅斯擬赴河南山西甘肅陝西等省游歷特請貴部發給護照以便前往等語聞外部已將護照填寫並紅信一封送往法使館函云所有貴國請給護照本部已照常填寫至於勘驗鑛產字樣本部未能允照所請云云

●俄使恫喝手段　日前伊犁將軍電陳俄商結隊前往庫倫以致沿途人心惶恐特希外部照詰俄使等語昨外部照詢俄使俄使覆照稱貴國大臣不能保護俄商時爲鬍匪刼掠以致賠累此後俄商持械結隊開往約載通商之處均請貴部勿庸置議云云

●台站職名送部　聞兵部日前收到烏里雅蘇臺來文一件奏請改爲滿蒙叅贊輪年管站每屆三年親查一次所屬各台站供給往來要差遞送文報各臺官兵應備械駝馬　房等項逐一照數查點均屬相符駝馬鑣壯按臺照章烙印所有倒斃駝馬由官廠撥補足額以備應差今將接管臺站職名先行報部可也

●飭查屯糧羨餘　探聞廣東省有屯糧羨餘一項原應衛所官弁徵收每糧一石收穀三四石不等現已裁撤除正米撥支兵餉外餘穀係官弁浸吞入已聞政府飭該督撫確查奏報留備賑糶之用云云

雜報

●義州學務　該州稟設之師範傳習所近已開辦聞購到時務教科書籍卷帙甚夥教員周建中氏劉月樓氏係從北洋聘來所取學生六十名逐日上堂講演又設蒙養學堂一處以七歲至十四歲爲學齡其各鄉小學堂已設三十餘處州牧馬俊顯君熱心教育故境內學務之盛於此可見一斑矣

●義州警務　該州所辦警務頗着成效四鄉居民漸獲安堵近因巨匪苑五竄擾西路錦義各處州牧馬君預戒巡警合力兜擒苑已聞風避匿現經該州巡警拿獲鬍黨兩名均帶有腰牌子母業已送案訊辦馬直牧當堂諭令警兵以後務須寔力盤查毋得始勤終怠故該州警務辦理甚有起色云

●新柳遷鶯　名校書德寶者去年本埠花榜第一人銷金窟中之黃純嘏也香名籍籍遊者傾心邇因所居稍狹另卜新巢日內已裝潢精雅不日狀元歸第紙醉金迷定有一番熱鬧云

叢談

●高宗泥馬渡江之訛　宋高宗初至杭州即命立崔府君廟以示靈異於是精忠小說遂有泥馬渡江之說按宋史宗澤傳康王再使金至磁州宗澤勸留不從乃假神以止之曰此間有崔府君廟甚靈可以卜[illegible]廟有馬是夜果銜車輦等物填塞去路澤曰可以見神之意矣乃止此泥馬故事也嘗見曹勛畫高宗瑞應圖九幅內一幅係崔府君廟々中一馬獨立而車轂之類縱橫滿地勛有跋云廳子馬不肯行蓋即塞路之事也

●王璧　黃巖王璧爲某部郎時居京師其祖某居原籍壽登期頤寄詩於璧內一聯曰若使來看百歲祖不妨遲作十年官璧泣然悲泣翌日附詩呈奏乞賜假歸省朝廷嘉許之囊因諸臣咸以詩送行一時傳爲佳話

豫報

昨日の氣溫
最高溫度廿七度五　最低溫度十八度一
昨年との比　高〇度九　低五度九

NEWCHWANG, WEDNESDAY, FEB. 21, 1906.

Referring to the regulations on the recovery of foreign private property left behind in Kwantung Peninsula, which were noticed in the issue of the "Manchuria Daily Report" on the 11th. inst, the Tokyo Army Office has arranged with the Kwantung Viceregal Office an expedient procedure for the sake of those intending visitors who do not happen to be in Japan, in providing them with the means of gaining landing in Kwantung Peninsula, without the necessary permit for visit to Tairen or Port Arthur, from the Tokyo Army Office. They need not go through the trouble of directly applying at Tokyo for the permit in question, but, instead, may address the Japanese ambassador or minister accredited to the country they are in. In case their applications are favourably received by the Tokyo Army authorities, they will issue the permits through the Foreign Office for transmission to the applicants, whose names will be at the same time communicated by wire to the Civil Administration authorities at Tairen or Port Arthur, as the case may be. On the strength of this communication, the applicants will be granted landing on Kwantung Peninsula. As for the copy of the permit required to accompany the report to be sent in within 24 hours of their arrival at their destination, it may be presented upon the receipt of the permit on the way of transmission.

Mr. and Mrs. Clarke took yesterday morning's train for Tientsin and Peking on a visit. We wish them a pleasant trip and speedy return.

Lt.-Col. Yokura left for Tokyo via Tairen yesterday. During his temporary absence which may last for about a month, Capt. Horikoshi, Chief of Gendarmery, will assume charge of the Administration.

At a dinner party given by Mr. and Mrs. Segawa last Monday evening, Mr. Sammons, Mr. Nikitine, Mr. Bandinel, Lt.-Col. Okajima of Tashihchao, Mrs. Nagasaki, Miss Ohga, Mr. Kurosawa, and Mr. Okabe were among the guests.

A circular was sent round last Monday announcing the re-opening of the Newchwang Branch of the Russo-Chinese Bank at the premises of the Russian Consulate.

Silver represented in "the fraudulent war notes that" according to the "China Review" in its editorial impeachment of the Japanese authorities in Manchuria on the 15th. instant, "debased the currency of the country," has at last shot up ¼-sen above the par notch with the gold yen. But for the undeniable fact that bar silver is quoted at 30 11/16, this phenomenal rise of the war note in value, might be put down to sleight of hand by Japanese financial jugglers, who, as a matter of fact, cannot to save their life juggle with the silver market of the world as a professional conjurer might do with his nimble fingers.

The guileless editor will ere long see with his own eyes, granting that he cares to see, (and he may rest assured that the time is not at all far off) what aerial premises on which he has based his concise summing up of the popular status in Manchuria that "neither the lives, rights, nor the properties of the peaceable and hardworking natives are respected or safe anywhere," we mean so far, as it comes within the pale of Japanese responsibility.

EXCHANGE QUOTATIONS.—(Feb. 19, 1906).

JAPAN	Bank T.T.	100¼	LONDON	Bank T.T.	2/- 3/8
	" Dem'd	100½		" De'd	2/- 7/16
	P'ate 15 d/s.	101		Cr. 4 m/s.	2/- 15/16
SHANGHAI	Bank T.T.	71	AMERICA	Bank T.T.	49½
	" Dem'd	71¼		" Dem'd	49¾
	P'ate 15 d/s.	72¼		Cr. 4 m/s.	51
TIENTSIN	Bank T.T.	102½		Bar silver - - -	30 11/19
	" Dem'd	102¼			
	P'ate 10d/s.	101¼			

The above quotations remained the same yesterday.

An apology is offered to the subscribers of the "M.D.R." for the non-appearance of its issue yesterday, on account of the sudden breakdown of the overworked machinery, at the eleventh hour during the previous night.

The "M. D. R." Relief Subscriptions, (No. 4.)

A Friend of the Distressed. - - -	20.00
	275.00
	$295.00

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館　第一營口ホテル　元神廟街九十六號

旅館　第二營口ホテル　河岸通り

料理　第三樓　元神廟街三十二號　店主　粕屋忠兵衛

料理　入船亭　永世街百八十三號　谷初次郎

旅館　日營ホテル　河岸通り　店主　井上源吉

料理　東京館　永世街八十六號　店主　村上京四郎

旅館　東茂旅館　西北街百七十三號　正金銀行西三軒

料理　沖の島　永世街百六十五號　店主　中川彌三郎

料理　吉野亭　永世街八十六號　店主　坪田正好

旅館　竹村館　永世街二十二號（電話五一）　店主　麻田久二

旅館　大和館　永世街十一號　店主　前田九一郎

料理　滿洲樓　南永世街第十號　店主　直塚勝一

料理　萬樓　豐濟門街第百〇八號　店主　田島鶴助

御料理　まんなをし　永世街字二本町二百五十九号　元吉田屋跡　店主　和田常松

料理　醉花園

旅館　濱谷旅館　永世街百二十七號　店主　濱田留吉

旅館　金城ホテル　永世街百六十七號

料理　第二金城ホテル　永世街百六十六號　店主　富永次郎

旅館　東雲旅館　永世街七號　店主　谷口今朝太郎

料理　喜樂亭　營口元神廟街

爲替相場（二月十七日）

日本向　一百圓（軍票百圓に付）

上海向　七十一兩二匁五分（同）

天津向　一百〇二圓二十五錢（百弗に付）

芝罘向　天津向に仝

日本品最近物價表　石原商店

一箱　ボイル三十入　銀八圓

一　フキ同　同五圓五十錢

一　福神漬　四打入　同三圓

一　上白米　一石　同廿二圓八十錢

一　美濃紙　一同　同六圓八十錢

一　大手帳　一打　同一圓

一　スコッチ靴足袋　一打　同四圓五十錢

一　洗濯石鹼　二十五本入一函　同三圓

一　同　並　二十本入一函　同一圓八十錢

一【毛】シャツ上下　一打　銀二十五圓より六十圓迄

一　白メリヤス上下　一打　同八圓より十三圓迄

一　首輪　同二圓

營口車站前　御用旅館　東　主任　谷口

さるそば　第一更科　營口元神廟街

さるそば　第二更科　永世街鍋の湯角

御料理　柳亭　叮嚀專一　豐濟門街二三　店主　玉岡

御料理　一力　並ニ温泉　營口永世街　店主　堀万助

和洋料理　松月亭　本店　營口元神廟街一四二号

和洋料理　御旅館　支店　滿洲ホテル　遼陽西街西門一一七号

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業　日營ホテル支店　主任　井上源吉

御料理會席　菊水館　主任　朝枝

旅館西洋料理　遼陽館　主任　永瀬宇吉

旅館料理業　公陽館　主任　宮川秀基

御料理會席　末廣屋　主任　山根初之亟

御料理　色々應御注文　凱旋亭　主任　古谷庄太郎

旅館御料理　遼塔ホテル　主任　木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル　遼陽倶樂部　營口東雲館支店　主任　谷口今朝太郎

會席御料理　玉家　主任　西野治三郎

御料理會席　來々亭　主任　石田清

撫順炭大販賣　毛生に不拘御用命被仰付度願上候　金城館販賣部

營口金城ホテル　特別室落成　旅館部

藝妓仲居　新來　金城ホテル料理部

奉天小西門外　會席御料理　上等御旅館　金城館

旅館　**富喜樓**　室内は極めて潔防寒之設備あり　鐵嶺驛へ滊車到着毎に日本人の案内者出張致し居候　鐵嶺城東門外南へ一丁余　南大街　樓主敬白

御旅館　**豐陽館**　上海（電話一〇六番）　日本郵船會社荷客取扱　歐米滊船乗船取扱　館主　米田藤吉

西海洋服店　歐米各國最新流行形　永世街一四一（森病院三軒目）（電話百二十七號）

御料理　**滿月**　平野町一八二（電話一六一）

御料理　**滿月支店**　平野町（元都樓跡）　今般内地より撰り抜きの別嬪數名呼寄候に付不相變御引立の程希上候　店主　青木勝惠

御旅館　**芙蓉館**　御用料理

高等旅館　**彌生館**　營口永世街　館主　宮下只七郎（電四二）

和洋會席御料理

一、弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に附屬し且又會費等は特に割引大勉強仕候

二、奉天支店も本店同樣に大勉強仕候間御光來被成下度候

營口永世街一本町　日本館本店（電話百三十番）

奉天小西門外大十字街北入橋町　日本館支店

谷位樓（電話十九番）

◎フレノロジー　頭腦を觀察して身の上はんだんをなす　營口豐濟門街廿三號　李俊氏宅の西半町　利生堂

營口永世街　營口印字局

諸鐵工製作　鑛山船舶機械鐵工　輕便鐵道附屬鐵工　土木建築用鐵材料　其外鑄物諸般　營口シツプ　綏定商會　門東街　川喜鐵工場

軍票騰貴に付弊店より正札價格を以て御用達可申候!!

步引

酒　菊正宗　新着

伺　最上日本白米及マツチ新荷着仕候

雜貨商　加藤洋行（營口八十番地）

本店　天津日租界　大阪

支店　營口　北京　遼陽　出張所

清國營口二本町二五五號

發賣　料木　標子　木板　**塩川商會**

主任　鹽川峰吉（電話一三六番）

遼陽小西門内　鹽川商會

外に電柱用材杉丸太長（自二十尺至三十尺）八千本

建築用材北海道産松大角（自廿五尺至三十尺）二万立方尺餘

右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

◯上等石炭　一噸に付　銀十六圓

◯上等日本米　一石に付　銀二十圓

◯板材木　◯木炭

◯亞鉛板　◯洋釘

◯干鰛魚　◯石灰

喜久洋行　永世街八十號（電話百五十二番）

御小賣致候間御用の御方は御通知次第直に持參可仕候也

大連　東洋ホテル　大連鐵道停車場附近民政署前兒玉町

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription　4 cts. a copy　80 cts. per month.

本紙定價　一枚ニ付　銀四仙
一ヶ月前金　銀八十仙
半ヶ年前金　四弗八十仙
一ヶ年前金　銀九弗六十仙